



赤磐

平成20年 **12** 月議会

# 市議会だより


No.15



も  
く  
じ

12月議会のあらまし	2P
委員会のうごき	5P
16人の議員が一般質問	12P

市議会の会議録がインターネットでも閲覧できます。ご利用ください。

 <http://www.kaigiroku.net/kensaku/akaiwa/akaiwa.html>  
(※赤磐市のホームページからもアクセスできます)

# 12月議会の あらまし

## 議案審議

12月定例会を、11月27日から12月18日まで、22日間の会期で開催した。議案17件、議員発議の意見書2件を可決、動議による副議長不信任決議案を否決した。  
また、請願3件（継続審査1件を含む）のうち2件を採択、1件を不採択とし、人事案件1件を審議した。

## 承認案件

### 土地の取得

土地・建物の課税が免除される。

**問** 企業誘致をして赤磐市にとってどんなメリットがあるのか。また、今回の企業誘致にあたり固定資産税の減免等の優遇措置を取っているのか。

**答** 地域の活性化、税収の確保のほか、地価の回復が望めない状況の中で、土地の塩漬は公社の子の含み損が年々増えるなどの損失拡大を防げる。また、優遇措置は固定資産税の特例で、3年間

### 国民健康保険

また、窓口負担をなくすることは可能か。

**問** 立地企業の主要取引先である三菱自動車が、減産体制の中で新たな設備投資を既定方針どおり行うかが心配である。今後の動向を見極めての対応か。

**答** 自動車業界は不況であるが、(株)ティムスは、国内の工場においては縮小せず、計画どおり投資に踏み切るとのことで、立地調印式の日も約束ができた。

## 条例改正

発行手数料を免除するもので、後期高齢者医療の対象者がなくなった時、遺族が高額医療費を請求する法定相続人であるかの確認などに戸籍の発行を無料交付するものである。

**問** 出産一時金が35万円から38万円になるのは少子化対策の一環か。また、市独自で上乗せすることはできないか。

**答** 国の少子化対策の環境づくりの一環である。この保険事業の3分の2が交付税として算入されることから、国保財政の状況から上乗せはできない。

### 手数料

**問** 一時金が市から振り込まれるまでの日数はどのくらいか。

**答** 14日以内にほとんどの人が出生届と共に一時金の申請をされるので、翌月末までに振り込む。窓口負担については、出産費用を負担することが困難な人について、医療機関の承諾があれば、市から直接支払う委任払いという制度がある。

### 最終処分場 管理運営基金

**問** 条例の目的と内容は。また、処分場閉鎖後の管理費が1億800万円というが、それで管理できるものなのか。

**答** エスク岡山(株)の産業





廃棄物最終処分場閉鎖後の維持管理に不安があるので、地区と市、会社の3者で協議してきた。閉鎖後18年間の維持管理費は、現在は会社が法定積立しているが、今までに独自に積み立てていた1億800万円を、地元の安心・安全を得るため市が基金に積み立て管理していくこととなった。

**問** 会社に問題が発生した時は、市、市の責任分担はどうなるのか。

**答** 事務の所掌・許可権限は県にあるが、地元は安心・安全のためには県の指導を仰ぎながら会社にきちんと管理してもらう。

## 田原用水組合 分担金

**問** 今まで税金としていたものを分担金にということだが、これまでのデメリット、今後のメリットはあるのか。また、改善点はあるのか。

**答** これまで水利地益税で徴収していたものが、地方自治法上、適当でないということである。分担金の賦課徴収額も従前と変わらず、改善点

は別にない。

**問** 土地改良事業の変更はいままで可能か。

**答** 現場整備事業に係る国の事業採択は年々厳し

くなり、県の補助金も徐々に削減されている。暗渠の排水工事を除き、面整備は20年度で終了となる。

## 20年度一般会計補正予算

**問** 柵原吉井特別養護老人ホーム組合の市・町での負担割合はどうか。

また、なぜ12月で補正するのか。

**答** 負担割合は経費の2分の1が均等割、残りが人口割で、赤磐市43パーセント、美咲町57パーセントの比率で負担する。10月28日の組合議会で20年度増築工事の設計に入る事が決定し、経費が必要なのであり、運営費の収支不足も予想されることから、美咲町と歩調を合わせ予算計上した。

ター整備事業はなぜこの時期か。

今年度で終了するのか。

**答** 消防指令施設は本部にとって重要な設備であり、保守に努めているが、7月には処理機能が異常を起し、10月には機能が停止し手動で指令業務を行った。復旧はしているが、部品も製造中止等があり、他の部分の故障も予想されることから早急に更新が必要である。

**問** 教育費の3歳児教育必要備品は、なぜこの時期か。

**答** 保護者から要望の強かったひかり幼稚園への

3歳児教育の導入については、施設の現状を大きく変えることなく実施することが可能と判断し、21年度から実施したい。そのため年度末であるが、4月の入園までに最小必要な備品を購入し、準備をしたい。

## 副議長の不信任決議案否決

備前広域環境施設組合の設立にあたり、市議会において賛成多数により議決された案件を、副議長に対し許可しないよう働きかけた行為は、副議長として無責任な行動であり、議会や特別委員会を

混乱させたとして、佐藤武文議員より福木京子副議長の不信任決議案が提出された。質疑、討論を行い採決をした結果、賛成少数により否決した。

**問** 高機能消防指令セン

## 備前広域環境 施設組合設立へ

3市1町が9月開催定例議会会で、可決した備前広域環境施設組合設立議案を受けて、11月6日組合設立申請を県知事へ行い、12月1日設立が許可された。

12月定例議会会で、3人の組合議員を選出した。

これにより、ごみ処理広域化が一歩前進することとなった。



熊山支所に設置された  
備前広域環境施設組合事務局

## 人事案件

次のとおり適任としました。

人権擁護委員 菅形 美枝（南方）

任期 平成21年4月1日～平成24年3月31日

## 請願

公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する請願書

【採択】

【要旨】建設業を健全に発展させ、工事における安全や品質の確保とともに雇用の安定などを図るためには、新たなルールづくりが必要であるので要望する。

介護保険制度の見直しと改善を求める請願書

【採択】

【要旨】安心した老後を送りたいと願っているのに、地域の介護は崩壊の危機に瀕している。必要な介護サービスを利用できる介護の社会化の実現と、介護職員の働く環境整備が急務であるので要望する。

消費税の増税反対に関する請願

【不採択】

【要旨】消費税が増税されれば、消費が落ち込み、地域経済はいつそう悪化する。「貧困と格差」をいつそうひどくするのは明らかなので、増税に反対することを要望する。

【賛成討論】不況のあらしが吹き荒れ、収入の当てのない人たちがますます増える中、消費税を上げるのは余りにも冷酷である。国民の懐を暖めることが必要であるため賛成である。

## 意見書提出

公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保を求める意見書

【提出先】内閣総理大臣、財務大臣、国土交通大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

介護保険制度の見直しと改善を求める意見書

【提出先】内閣総理大臣、厚生労働大臣

# 総務 常任委員会

12月10日に総務常任委員会を行った。  
議案3件、請願1件について審査した。

## 市民バス 北佐古田線

**問** 旧佐伯町の福祉バスが20年12月で廃止されることによる代替措置だが、どこかの路線とあわせ、効率的な運用はできないか。

**答** 現在運行している市民バス笹岡線との併用で、効率化を図る。

**問** 利用状況の把握はどうか。

**答** 沿線住民の声から推計し、今回の運行形態を決めた。



市民バス北佐古田線

## 一般会計

**問** 高機能消防指令センター改修工事は7カ月かかるということだが、消防の生命線であり、早期

**答** 早期に取り組んでいただきたい。い。早く取り掛かれるよう、準備したい。



消防本部の通信指令室

## 赤坂多賀 工業用地

**問** 早期の売却を進めた方がよいのでは、と協議を進めてきたが、どうなっているのか。

**答** このたび、(株)ティムスと話がまとまった。

優良企業の立地につながった土地の下落については、当時予測がつかなかったが、貴重な経験をした。今後の企業誘致に生かしたい。



赤坂多賀工業用地 (株)ティムス進出地)



# 厚生 常任委員会

12月11日に厚生常任委員会を行った。  
議案6件、請願1件について審査した。

## 国保条例の一部を改正する 条例

**問** 出産費用はどれくらいかかっているか。

**答** 平成20年度委任払いされた人13件の平均値で35万8000円くらいである。

**問** 出産一時金とは別に市独自で祝い金のようなことはできないか。

**答** 国保会計で約50人の予算を編成しているが、他の保険の対象者を合わせると相当多い出生児数になるので財政的に無理である。

**問** 市独自の施策として将来は考えているか。

**答** 少子化対策としては良いと思うが、もう少し

恩恵がある乳幼児医療へ力を入れていきたい。

## 手数料条例の一部を改正する 条例

**問** 高齢者医療の確保に関する法律に該当する者は該当者が無いということだが今後どうか。

**答** 後期高齢者医療の対象者が死亡した時や、遺族が高額療養費等請求する場合、法定相続人を確認するため戸籍の無料交付請求が想定される。

## 最終処分場管理運営基金条例

**問** 閉鎖の時、市が絡んで会計管理する自治体か

**答** 地元の安全安心ということから市で確保することであり、他の自治体の例は無いと思われる。

**問** 法律に基づいてやっているのか。

**答** 平成10年6月16日以前にできた最終処分場は、閉鎖後の維持管理の経費を租税特別措置法の適用を受け企業が独自に積み立て管理するものである。

その積立金が1億800万円あり、企業の協力で市が管理するものである。

**問** 基金として管理することで安心感はあるかが、不足分の2億2000万円の確保の保障は。

**答** 3メートルの高上げで操業が5年延長となる。

その間に資金積み立てに努め、なお不足分については、覚書の保証人であるエスク三ツ川株が適正な維持管理に責任を負うということである。



最終処分場（エスク岡山株）

### 一口メモ

※赤磐市最終処分場管理運営基金条例とは

赤磐市山手にある管理型最終処分場閉鎖後の維持管理を適正に行うため、管理会社（エスク岡山）が独自に積み立てていた特定災害防止準備金を市に寄付し、それを市が基金として積み立てることを定めたものです。

今回は管理会社からの寄付金1億800万円を基金に積み立て、21年度以降3年間は毎年1000万円の寄付金を受け基金に積み立てていきます。

## 20年度 一般会計 補正予算

**問** 地域振興費の防犯灯の修繕で、落雷被害は初めてか。今までにあったか。

**答** 落雷による修繕は初めてで、緊急性があることで修繕したところ、予算が不足したので補正する。

**問** 予防接種の接種率を50パーセントから90パーセントに上げたいとのことであるが。

**答** はしなが大変流行し短大閉鎖などがあり、しかしを撲滅するために、3期4期の接種を国が計画した。当初、接種の目標はなく50パーセントで予算を組んでいた。今年度95パーセントに接種率を高める目標が出たので補正するものである。



# 産業建設 常任委員会

12月8日に産業建設常任委員会を行った。  
議案9件、請願1件について審査した。

## 土地の取得

### 赤坂多賀の工業 用地

問 土地は現状のまま

譲渡されるのか。流れは  
どうなるのか。

答 現状のまま譲渡に  
なる。会計上は、公社か  
ら市へ、市から民間へと  
いう流れとなる。



委員による現場視察（多賀工業用地）

## 田原用水分担 金徴収条例

問 水利地益税から分担  
金としての徴収となる  
が、未納分の取り扱いは  
どうするのか。時効は税  
と分担金とでは違うの  
か。

答 20年度分までは税と  
して扱い、21年度からは  
分担金となる。  
時効は税が5年、分担  
金は2年である。

問 耕作面積10アール当  
たり4500円以内とな  
っているがどうなるの  
か。

答 田原用水組合の事業  
費によって割り当てが決  
定するため「以内」とし、  
上限が4500円である。

問 特別会計をやめては  
どうか。

答 特別会計は廃止とな  
る。分担金として市が集  
めて組合へ支払うが、将  
来的には直接運営される  
のが改善になると考える。

## 20年度 一般会計 補正予算

### 都市計画費・産 業集積化プロジ ェクト委託料

問 約20ヘクタールの農  
地について土地利用計画  
を変更すること。  
計画はどのように考え  
るか。

答 一帯を産業集積地と  
して樹立したい。土地利  
用計画の変更にあたって  
は、地区計画を活用する。

## 立川橋補強 (長寿命化)

問 今回は応急措置だと  
思うが、工事後も6トン  
の重量制限を継続するの  
か。看板はどうするのか。

修繕後の対応、点検はど  
うなるのか。  
答 規制標識は1月中旬に  
設置。お知らせ看板は1  
月初めに立てる。

コンクリート橋では、  
40年以上15メートル以上  
のものを点検して、永く  
使用できるように修繕する  
ことになっている。

橋の安全率は相当ある  
と考えるが、20年より3  
年間で15メートル以上の  
橋を調査点検。ランクに  
より3年、5年の定期点  
検をする。



委員による現場視察（立川橋）

## 簡易水道特別 会計補正予算

問 熊山簡易水道分の執  
行残をすべて減額したの  
か。給水使用料の過年度  
分の未収は上水道会計へ  
入るのか。

答 補正額は予算額から  
9月末残高を単純に差し  
引いたものではない。今  
後の執行を見込んで上水  
道会計へ移行する。過年  
度分は上水道会計へ入る。

# 文教 常任委員会

12月9日に文教常任委員会を行った。  
議案1件について審査した。

## 施設燃料費

**問** 燃料費が増額との説明があったが、燃料サーチャージとかわりがあるのか、ないのか。

**答** 施設や公用車等の燃料高騰による不足分を今回補正しており、燃料サーチャージの補正はこの中に入っていない。

**問** 燃料サーチャージはしてもこの中に入っていないのか。それとも燃料サーチャージはしないということなのか。

**答** スクールバスの燃料サーチャージについては市全体の方針に沿って検討する。燃料サーチャージを行うにしても、金額については、既存の委託料の残額で対応したい。

## 一口メモ

※燃料サーチャージとは

燃料とする油（ガソリン、灯油、重油等）の価格に追随する、運賃とは別料金で上乗せして徴収される料金のことです。

燃料高騰の際には通常の運賃だけでは賄いきれなくなる為、高騰した分の価格を上乗せし、その差額を燃料の調達費として割り当てることを目的としています。

## 幼稚園備品購入費

**問** ひかり幼稚園の備品購入費76万9000円について、簡単な内訳は。

**答** 21年度4月から必要な備品である。園児の椅子や机、また3歳児に必要なぬいぐるみ、ブロックやままごとセットなどである。

**問** なぜこの時期に補正をしたのか。21年度の当初予算でも間に合うのではないか。

**答** 例年12月に市の広報紙などで幼稚園の21年度入園の募集をかけており、ひかり幼稚園でも21年度から3歳児保育を実施する関係の募集をかせいでいただいている。

**問** この備品は3歳児何人分を想定しているのか。  
**答** 3歳児の募集定員は30人であり、30人を想定している。

**問** 3歳児のためのトイレなどの改造は必要ないのか。

**答** トイレについては20年度の予算で、トイレと教室の間口の改修と、3歳児が使用できるようなトイレの設置等、必要最小限度の改修を行う。

## 学校給食場の 燃料費

**問** 学校給食の燃料費補正234万2000円について、どんな単価が下がってきている状況で、もしも余れば減額補正するのか。また、給食費に燃料費は一切含まれていないのか。

**答** 給食場の燃料費は、要るものは要るという形の中でやっているが、大きく余れば当然減額補正をしなければならない。また、給食費は食材費そのものの単価で、学校給食法に基づき保護者が負担している。

**問** 吉井の給食センターはオール電化だが、オール電化とガスなどの光熱費ではどちらが安いのか。

**答** 今回のように燃料費が高騰すれば燃料費の方が高くなるが電気料も1・3倍高くなり、どちらが安いかということでは現時点では判断できない。



ひかり幼稚園



# 一般質問

## 市の考えを問う



16人の議員が登壇し市の考えをたどしました。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。



桜の植樹場所（桜が丘西）

**問** 乳幼児医療費年齢拡大はいつまでにやるのか

**答** 6年生まで  
21年7月から実施

**問** 少子化対策は、赤磐市の最重要課題である。

石井知事は、乳幼児医療費の年齢拡大について、選挙公約を掲げていた。

軽減措置は、若い世代の子育て支援に、大変重要である。

年齢拡大は、いつまでに実施するのか。

**答** 所定の手続きを早期に進め、就学前を引き続き無料とし、小学校6年生まで、保護者の負担を

1割とすることを、21年7月から実施したい。

**平和宣言・市歌は必要**

**問** 一人ひとりが幸せと健康で、生きがいを持つ人生を願っている。平和と歌声は両輪で子どもたちの幸せのためにも、必要ではないか。

**答** 平和宣言は、旧町の内容を踏まえ任期中に制定する。市の歌は、十分な調査研究をしたい。

**特産品を全国にPR**

**問** 地産地消対策が進んでいない。山陽インターを活用し、赤磐市の特産品をPRすべきではないか。



佐藤武文議員

**答** 地域農業の活性化へ民間の活力なども視野に早期実現に努力する。

**維持管理体制は万全か**

**問** 桜が丘地域の維持管理区分は、西と東が公平性に欠けることはないか。

**答** 市民生活に支障が起らないよう、十分配慮する。

**守られているか  
人権**

**問** インターネットの普及に伴い、悪質な書き込みなど人権侵害が見受けられるが、対策はないのか。

**答** 人権感覚を磨き、すべての人を差別せず、平等心と思いやりのある教育をめざす。

### 表紙のひとこと

### 強い!! 岡山シーガルズ

紅葉も終わり、だんだんと冬景色に変わりつつある12月6日（土）からの2日間、山陽ふれあい公園において、バレーボールV・プレミアリーグが開催され、岡山シーガルズは地元応援団の熱い声援の中、この2連戦を見事に圧勝で飾りました。

今後も岡山シーガルズの活躍を大いに期待しています。

問

### ごみ処理広域化はCO<sub>2</sub>削減や減量化に逆行か

答

### ごみ処理広域化はCO<sub>2</sub>削減や減量化を実現



梶野志郎議員

**問** 10月27日の共産党の「あかいわ民報」にごみ処理広域化計画はごみの減量化、CO<sub>2</sub>削減にも逆行するとはっきり書いてある。市長は逆行しないと言っているが、どっちが本当なのか。

**答** 国の掲げているごみの発生抑制、再使用、再資源化は当然やらなければならない課題である。ごみ処理施設の建設にあたり、国からの交付金を受けるため循環型社会形成推進地域計画を提出する必要がある。これには国、県などの指針



桜が丘清掃センター

生利用の理念に沿った第2次岡山県廃棄物処理計画および新岡山県ごみ処理広域化計画では、これまでの狭い範囲での小規模の焼却施設よりも、一定規模以上の集約した施設で処理した方が、ダイオキシンやCO<sub>2</sub>の削減対策や経済対策に有効であると示されている。

に沿ったごみ処理の減量目標を掲げる必要があり、広域のごみ処理施設計画は、まさにごみ減量化とCO<sub>2</sub>削減を実現するための計画である。

**問** 共産党の福木議員は赤磐市議会の副議長である。川澄議員も、ごみ処理広域化等調査特別委員会の委員であり、そういう人がうそを言うわけがないが、市長のほうがうそを言っているのか。

**答** 私の考えは、ごみ処理広域化計画によって減量化とCO<sub>2</sub>の削減につながると判断している。

**問** 若い人たちが元気になる政策、例えば若者の雇用や住宅対策、市のイベント等への参加推進など積極的にやっていくべきではないか。

**答** 指摘の内容は、大変有効な取り組みではないかと考える。まずは、各種の審議会や委員会等へ若い人の参加を促進していく。

問

### 若い人たちが元気になる政策を

答

### 積極的に意見を聞いて、必要な政策を検討



松田 勲議員

**問** 3市1町という広域であるメリットを生かし、ごみ袋と収集車に企業広告を掲載してもらい、その利益を財源の一部にすべきではないか。市から一部事務組合へと積極的に提案してはどうか。



若者就職支援のパフレット

**答** 応募が集まらない、イメージ、在庫管理・保管スペース、印刷コストなど広告収入として採算がとれないなど課題や問題がある。

**答** 収集車については組合だけではなく、委託・指定業者のものなど車両の種類が非常に多い。一つ一つクリアする方法を十分検討し、可能な提案を積極的にしていく。



問

事務事業見直しによる  
削減算定金額はいくらか

答

削減は一般財源の枠配分で行  
い事務改善は役割分担で実施

問 行革の一端として、平成20年度事務事業283が評価され、20年10月行政より提示された。

減算定金額はいくらか。  
②見直しはいつ実施するか。

また、二次評価結果で廃止評価した4事業は、

その内訳は、拡大・充実としたもの2事業、現状維持としたもの87事業、改善としたもの160事業、縮小としたもの10事業、統合としたもの11事業、廃止・終期設定したもの13事業等となっている。

①事業見直しによる、削減に評価した。

21年度予算に反映するため、予算案を調整、固まったところで対応、状況調査を実施する。

①削減は一般財源の枠配分で行い事務改善は役割分担で実施する。  
②評価結果はすぐには反映できない。廃止の2事業は空中散布事業や危険木処理事業等で補っている

また、二次評価結果で廃止評価した4事業は、市民に対して問題ないか。事務事業評価制度は、各事業について実施が妥当か、成果があるか、効率的に実施されているか等について評価し、歳出削減や事務改善等を実施していくもので、今年度は283事務事業を対象に評価した。



女性の会による裁判員制度研修会



荻田敏正議員

くので、問題はない。

21年5月スタート  
裁判員制度

問 市民が刑事裁判に参加する「裁判員制度」が平成21年5月21日よりスタートする。

「裁判員制度」は、国民の皆さんが裁判員として刑事裁判に参加して、裁判官と一緒に決める制度である。

①各市町村の選管の裁判員候補者名簿作成・選出方法は、

②裁判員に選出された人たちの相談窓口はどこか。

答 ①市町村選管送付の裁判員候補者予定者名簿をもとに裁判員候補者名簿を作成する。  
②総務課が窓口になる。



海野雅之議員

問 高齢者への施策は十分か  
対策を一層進めよ

答 随時改善を行いながら  
事業の充実と継続を行う

継続を行っている。

地域の介護力向上をめざし、ホームヘルパー養成講座の取り組みや、民生児童委員中心の小地域ケア会議を設置しての組織づくり、相談体制の充実など、地域の人・社協・行政の関係機関がネットワークを構築し、高齢者が安心して暮らせる地域づくりを進めていく。

環境全般を視野に  
備前地域ごみ処理計画を

問 ごみ処理計画にリサイクルプラザ、廃食油の再利用や、環境全般を視野に入れた計画が十分に検討されているのか。

答 事業計画として具体化する中で、備前市の意見も聞きながら協議していく。

廃棄物の処理も検討中であり、来年度は、給食センターの廃食油から幾らかでもバイオディーゼル燃料が出来ればと考えている。

エコポイント制度  
本市の認識は

問 エコポイント制度について本市は研究されているのか。

答 環境に優しい取り組みを推進・促進することで、ポイントをためて環境に優しい商品やサービスに交換されるものである。

本市レベルでの制度の検証も必要であり、県下の状況等も調査し、今後十分に検討していきたい。

一口メモ

※エコポイント制度とは

省エネ家電等の温室効果ガスの排出削減に資する商品・サービスの購入・利用や、家庭での節電等の省エネ行動によりポイントが貯まり、商品等と交換できる仕組みのことです。

家庭における温室効果ガス削減行動を誘導する切り札として、今後の取り組みが期待されます。

## 問 農業活性化に向け、プロジェクトチームの設置を

## 答 経営・生産対策推進会議が市の担当チームだ



川澄章子議員

また、産業課でなくプロジェクトチームを作つて、稲作、果物、酪農そして野菜農家を守る立場で本腰を入れていく必要があると思うが、設置する考えはあるか。

答 ①総数3063戸から2865戸、従事者数8128人から5471人(2000年から2005年調べ)現時点では統計資料が無いので言えないが、減少化は続くと考え。酪農家数は4戸減つて8戸。ほとんどなくなっている状況だ。

問 アンケートを受けた農業活性化に向けて、市はどのように応えてきたのか、次の点を問う。  
①農家数の減少数は。  
②産直センターの開設は。  
③大豆・麦など農産物の増産に取り組む考えは。  
④酪農家への支援は。  
⑤学校給食法改正による栄養教諭は何人いるか。  
⑥地元産を供給することにより、給食費を減らすことはできないか。

民間活力を活用して市内の適地への設置を検討していきたい。  
③小麦の生産は難しい。大豆も黒大豆があるので無理。今後契約栽培のような形で食材の確保を図る方法も検討したい。  
④予防接種・削蹄・結核等、各種防疫事業に要する経費2分の1補助をしている。酪農家の要望を聞き支援充実を図る。  
⑤20年度から中央学校給食センターに1名配置。  
⑥すべての食材が賄えないし、地元産が高いこともある。今も値上げが続く、ぎりぎりの状況だ。



学校給食膳

## 問 派遣社員の雇用を守るため市が会社に要請を

## 答 派遣会社との契約であるとの説明であった



福木京子議員

ないか。

答 この会社の説明では、「経済情勢の悪化で製品の受注が減り、派遣期間が満了された方の派遣を見合わせた。本人と雇用契約を結んでいたものではない」とのこと。市長会を通じ景気対策を強く要望していく。

### 使用料値上げ問題

問 桜が丘交流センターの利用は、登録団体は無料だが来年度から冷暖房費があるとのこと。十分議論し納得できそうな使用料にすべきではないか。

答 登録団体は施設および冷暖房使用料を免除しているが、不要な冷暖房の使用の自粛をお願いしてきたが改善されないの21年4月



桜が丘いきいき交流センター

1日から冷暖房使用料をもらうこととした。運営委員会で賛同を得ているが今後いろんな意見も聞きながら対応していく。

### ごみ減量化計画の進捗は

問 3市1町の現在のごみは、1日約96トンだが今後5年間ぐらいでどこまでごみを減らすのか。今策定中の進捗状況はどうなっているのか。

答 3市1町、国、県と協議し、ごみの減量化に向けた目標を設定することとしている。早いうち





実盛祥五議員

**問** 県道和気熊山線をどのように吟味しているか

**答** 県に待避所設置等を強く要請していく

**問** 和気熊山線は幅が狭く、赤磐市で一番危険な道路である。  
この冬場は霧が出て前方が見えないため、ドライパーがバツクするのに時間がかなり大変混雑している。

生活するための道路として市民が利用している和気熊山線を市長はどのように吟味しているか。  
**答** 県道と和気熊山線(395号線)は、熊山橋東詰めから和気停車場線までの延長約5キロメートルで、1級河川吉井川の左岸を通る道路である。特にそのうち900メートルの区間については、幅員が2メートル程度で交互通行できず、交通のネックとなっている。旧町当時から緊急避難的な措置として、管理者である県に対し待避所の設置を要望しており、現在7カ所、赤磐市区間に4カ所、和気町区間に3カ所の待避所が完成しているが、地域住民から、霧の出る日等は視界が悪く危険でまだまだ不十分との声も聞いている。



県道と和気熊山線の狭い箇所

今後とも引き続き県に対し和気町と連携をとりながら、待避所設置の要望とあわせて幅員を拡幅する張り出し工法も検討してもらおうよう強く要請していきたい。

また、この路線の交通緩和対策として、奥吉原地区から和気インターチェンジのある中山地区に広域農道の早期完成を県に要望し、バイパス機能も発揮させたい。

**問** 広域農道の完成見込みは。  
**答** 未定であるが、できるだけ早く完成へもっていききたい。

今後は引き続き県に対し和気町と連携をとりながら、待避所設置の要望とあわせて幅員を拡幅する張り出し工法も検討してもらおうよう強く要請していきたい。

また、この路線の交通緩和対策として、奥吉原地区から和気インターチェンジのある中山地区に広域農道の早期完成を県に要望し、バイパス機能も発揮させたい。

**問** 広域農道の完成見込みは。  
**答** 未定であるが、できるだけ早く完成へもっていききたい。



市街地の狭い道路

**問** 市街化区域の道路整備についての計画は

**答** 各種協議しながら積極的に取り組む



藤田圭右議員

**問** 現在、市街化区域は民間によるミニ開発が逐次行われている。  
道路は旧態依然のままで住民は困っているが整備計画はあるのか。  
実態調査して、十分住民の意見を聞いてもらいたい。

**答** 赤磐市内では、市街化区域も含めて地域間を結ぶ主要幹線道路について、県事業等により、主要地方道岡山吉井線の4車線化を始め々と整備が進められている。しかし、その一方で、市民の日常生活に密着した宅地の利用に供するための道路については、指摘の通り整備率は50パーセントである。

特に両団地を除き在来地区の市街化区域内の道路については、幅員が狭少なものが多く、まだ整備状況が十分ではない。こうした状況を踏まえ、市としては新総合計画の中で人に優しく安全な市道の計画的な改良を推進する方針としている。現在、国の道路整備交付金等を活用しながら、新市建設計画にある路線については、事業評価により特に効果または緊急性が高いと考えられる路線から順次改良事業を実施している。

今後、まちづくりの観点から、将来的な土地利用計

画等と一体的な市街地の整備手法を検討していく。市民生活の利便性向上と通行者の安全確保が図られるよう、面的な道路整備を重点的に推進していく。

## 問 新型インフルエンザへの市の対策は

## 答 広報紙等で周知を図る



岡崎達義議員

ワクチンが「新型」に直ちに効果があるとはいえないが、予防接種の費用負担に支援を考えていないか。

**問** 新型インフルエンザは感染力が強く、毒性も強い。いったん流行すると国内で最悪の場合3200万人が感染し、64万人が死に至ると言われている。

**①** そのような最悪の事態を防ぐためには市役所を中心に、各種医療機関などの緊密なネットワーク化による感染拡大防止策が必要となる。  
どのような対策、方針を考えているか。  
**②** 従来のインフルエンザ

**③** 特に、乳幼児に対する支援はないのか。乳幼児は免疫力をつけるためには2回接種しなくてはならないように、2回で1人5000円の負担と聞いている。子供が多い家庭では負担が重く予防接種を避けることにもなりかねない。

**答** ① 新型インフルエンザ対策については市長が本部長となり、主に住民、地元企業等に対し広報紙等で積極的に情報提供や周知を行う。  
また、発生時において住宅や福祉施設に入所する高

齢者や障害者等の要介護者や社会的弱者に対し、必要な介護サービスや食料等保障できるような体制の整備に努める。

県内で新型インフルエンザが発生したときは知事が本部長となり対策を講じることとなっております。市は県の要請に応じて協力体制をとっていく。  
**②** 現行では予防接種法に基づく対象者である市内在住で65歳以上の人たちについては、自己負担1800円を徴収し、3000円を市が負担している。

**③** 乳幼児のインフルエンザの予防接種は任意であることから接種料の支援については現在のところは考えていない。



## 問 市長としての倫理が欠如している

## 答 揚げ足の話だ



下山哲司議員

挙において、吉井支所内で公明党の後援会の名簿記入を部下である職員に指示し、後日職員に回収させている。

このような倫理観の無い考え方でトップを再度やることは理解できない。市長には文書でいろいろと聞いたが、一度も回答をもらっていない。今回は一般質問なので回答してほしい。

**問** 市長は、政治倫理についてどのような考えを持っているのか。  
旧吉井町長2期、赤磐市長1期。多選の慣れで、行政トップとして正常な考え方や倫理において甘さが出ている。  
例えば、先の参議院選

**答** 政治倫理をどう考えるかとの質問だが、具体的には高齢とか公明党の資料を配布したとの話で、個人的な批判については答えない。  
政治倫理については、市長である私が政治倫理



を確立することが民主政治を行う上での根幹であると思っっている。

**問** 市長の倫理が欠ければ、赤磐市全体の倫理が欠ける。職員の皆さんはどうなるのか。市長が市庁舎内で公明党の議員のピラと名簿書き込みを依頼し、職員に回収させて、公明党の議員に手渡ししている事実がある。

**答** これは公職選挙法136条の2（公務員等の地位利用による選挙運動の禁止）に触れる。  
反省していただかないと部下に示しつかないと考えるがどうか。  
**答** 揚げ足を拾われる話だ。





小田百合子議員

### 問 行政も収入増をめざせ

### 答 検討したが難しい

**問** 公用車やホームページなどに広告を入れ、収入を得ることを提唱されてきたが、検討の結果はどうなのか。  
公用で使う封筒への広告の掲載も、他市で実施されている。  
封筒代を広告主が負担する方法がどうか。  
ホームページのバナー広告の募集はどうか。

**答** 近隣の自治体の取り組みを調査したが、広告主が集まらないという状況である。  
手数の割に収入が見込めないという現状から、当面募集についての取り組みはしない。

### サッカー場の計画とは

**問** 環太平洋大学が、赤磐市内にサッカー場・ソフボール場を造らせて欲しいということで地元説明会を開いたと聞くが、詳細はどうか。  
**答** 市に管理移管を予定されている桜が丘東地区の土地の有効利用を画策していた。

小学校予定地へサッカーコート、中学校予定地へソフボール場を建設したいと申し込みがあった。地元へ説明会をし、建設してよいか町内会としての判断をもらうことにしている。  
現在のところ、結論に至っていない。

### 自閉症などへの対策は

**問** 市民に自閉症や発達障害を理解してもらうことを目的とした研修会などを、市独自でやるための予算化をすべきではないか。

**答** 小規模障害者作業所2カ所を来年度から地域生活支援センターとして格上げを行うなど、充実を図る関係予算の確保を行う。

また、岡山発達障害者支援センターの講師による勉強会を開催し、知識や技術の習得に努めた。21年度から私立保育園も参加してもらい、市全体で就学前教育の充実を図る。



サッカーを楽しむ人たち

### 問 障害者雇用への取り組みは

### 答 重点施策とする



井上稔朗議員

また、担い手不足の農業と、就業場所が不足している障害者のマッチングはできないか。

**答** 地域生活支援事業で平成19年以降37件の就労相談を受け、14件が一般就労できた。市職員の障害者雇用は9人である。障害者の雇用拡大については市内の事業者への雇用確保の依頼や、農業面の就労の場確保を含めて関係機関と協議し重点施策として取り組む。

**問** 多重債務者への積極的な施策は市民の安心を守る大事なサービスである。過払い金の返還や生活再建を通じて税の滞納整理や生活保護家庭を少なくする事もできるが、市の方針はどうか。

**答** 弁護士会の救済センターと十分連携し、市の相談窓口を本・支所に置き、相談マニュアルによる素早い対応に努める。過払い金の返還請求について、業者への訴訟を起こし債権

回収する態勢にはなっていないが、関係機関と積極的に情報交換し取り組む。

**問** 固定資産の評価替えの年であるが、旧4町間・地域間のバランスはとれているか。また長期間の地価下落をどう反映しているのか。

**答** 4人の不動産鑑定士により、市内統一的な視点で均衡のとれる鑑定をしている。

地価下落にも適切な単価設定に努めた。  
**問** 耕作放棄地や遊休農地へ牛やヤギを放牧してはどうか。  
**答** 先進事例を十分研究しながら取り組む。



牛の放牧

## 問 地域住民からの要望は実現できたか

## 答 市民の参加と協働による開かれた市政運営を行っていく



山下浩史議員

ごとの進捗率や事業費について、ここで具体的に述べることはできない。

常に市の一体感の早期醸成と地域の均衡ある発展を念頭に置き、各旧町の地域の特性を生かしながら、赤磐市としてともに発展していけるよう、地域バランスに配慮しながら広域的視点に立つて事業を実施してきた。

**問** 市長の所には、多くの情報とか要望が集まっていると考えるが、それらの優先順位、集中と選択、そして決断し、少しでも早

**問** 合併協議会に対して各旧町からたくさんさんの要望があったが、実現できなかったもの、そうでなかったもの、その割合を旧町ごとに説明せよ。

また、各旧町ごとの実施金額も説明せよ。

**答** 合併時点の各町からの要望事項に対する旧町

く実現されたい。

**答** 市長に対して赤磐市全体、赤磐市民の一体感の醸成を図ることに全力で取り組んでもらいたい。市長の考えはどうか。

これからのまちづくりは、市民と行政が知恵と力を出し合いながら、市民ニーズに合った、より効果的な施策を展開していくことが求められている。今後においても、地域のできるだけ多くの人々の声を聞き、地域間の均衡のとれたまちづくりに努めていきたい。



これ里ワイン祭り

## 問 新たな企業誘致に向け用地を確保せよ

## 答 産業集積地の開発計画 約20ヘクタールを進める



山田秀士議員

な用地は無いと思われる。

そこで、市の土地開発公社を利用して用地を確保し、工業団地として開発し企業に赤磐市の優位性を強調し、財源の確保と若者の定住、雇用の確保に向け企業誘致に、より積極的に取り組むべきではないか。

**答** 企業誘致は歳入財源の確保と若者の定住促進、地域経済の活性化対策として市の総合計画に重点施策と位置づけ推進しており、今年度数社の立地が決定したところである。

私も企業誘致は厳しい財政の中でこれからの赤磐市にとって最も重要な事業だと確信している。しかしながら、今後の企業立地に向けての必要

さ指摘のとおり新たな企業の需要に對

応できる用地は無く、受け皿となる用地の確保が急務となっている。今後は地の利を活かして山陽インター付近の長尾、立川地区に県の広域化物流拠点設備プロジェクトと連携をとり、産業集積地の開発計画約20ヘクタールを進めているところで、今後も企業誘致を積極的に進めていく。

なお、土地開発公社での先行取得についてはご意見を尊重して担当委員会と十分協議しながら対応する。



産業集積予定地（長尾・立川）



## 問 予定価格を事後公表にしてはどうか

## 答 試行で導入し、成果や問題点を探る



北川勝義議員

**問** 備作高校跡地利用について①県に対する無償譲渡の要望②市内企業に活用してもらうことについて進捗状況はどうか。

**答** ①市長会で知事に要望して、知事も前向きに検討したいと回答している②県の企業誘致担当部局へ積極的な取り組みを要望している。

**問** 入札制度について①不良不適格業者の排除及び市内の建設業者を対象にした実態調査②予定価格を事後公表に変更すること③発注予定価格の85パーセント程度を最低制限価格に設定することについてはどうか。

**答** ①市内・準市内業者

について、すべて調査をしている②透明性・競争性の確保に効果があると考え、試行で導入し、成果や問題点を探りたい③入札環境を踏まえ、ある程度のルールをつくり、今後実施していきたい。

**問** 河川改修について①早期の吉井川堤防の嵩上げ②赤坂地域で誘致企業の工場建設に伴う放流水により、石寄川の整備等浚渫の実施はどうか。

**答** ①中国治水大会で暫定堤防を完成断面にするよう強く要望している。地域住民の安全・安心のため早期改修の要望を強く行う②県管理の石寄川の由津里地内で、一部護岸改修と浚渫が年内に発注予定である。

**問** 公共交通機関の充実および市民の足の確保について①吉井地域から山陽地域と赤坂・熊山經由山陽地域へ行く循環バスの運行②デマンドタクシー



入札箱

シーを考えてはどうか。

**答** ①宇野バス路線以外の道を利用するのも一つの案であり、利用状況等、今後十分検討したい。

②デマンド型交通を導入している自治体の先進事例を研究し、利便性・効率性、財政面など考慮し検討したい。

**問** 公共墓地の概略計画図を取りまとめるのとこととだったがどうか。また、公共墓地の整備計画とあわせて斎場建設を考えるべきと思うがどうか。

**答** 12月末を納期として取りまとめを急いでいる。販売予定価格を算出し、市場価格との比較により公共墓地事業の妥当性を検討する。

また、市内には、一部事務組合が経営する斎場があるが、共通の斎場がない。今後市民農園等も含め考えたい。

ご活用ください!

# インターネットで会議録検索

平成20年6月2日より、本会議の会議録がインターネットで検索できるようになりました。これにより、今まで図書館でしか読むことのできなかつた会議録が、ご自宅のパソコン等でも自由に閲覧することができ、大変便利です。

### <会議録を見る方法>

- 方法①** 赤警市のホームページを開き、「赤警市議会」→「会議録検索」と開いていく。
- 方法②** ブラウザを立ち上げ、アドレスバーに直接下記のアドレスを入力する。



<http://www.kaigiroku.net/kensaku/akaiwa/akaiwa.html>

- ※ インターネットで検索できる会議録は、平成20年3月第2回定例会以降のものとなります。
- ※ 市内の図書館（中央、赤坂、熊山、吉井）においては今まで通り冊子の会議録を閲覧できます。

## 議員人権研修会

人権研修会が、1月23日(金)に開催され、議員25人が出席した。

NPO法人おかもやま犯罪被害者サポート・ファミリーズ理事長の川崎政宏氏より「犯罪被害者の人権を考える」についての講演があった。



犯罪被害者の人たちが置かれている現状や関係法令の整備状況、また、これから必要な地域での取り組み等について、具体的な事例を交えて分かりやすく説明された。

私たち一人ひとりが人権を守っていくために「何ができるかを共に考える」ことの必要性を感じた研修であった。

## 議会を

## 傍聴しませんか



本会議、各常任委員会は一 generally 公開され、どなたでも自由に傍聴することができます。市政の動きや議員活動を知るためにもぜひ傍聴してください。(本会議：定員30人、各常任委員会：定員5人)

また、本会議については、市役所本庁舎1階市民コーナーにモニターを設置してありますので、どうぞお気軽にご覧ください。



1階市民コーナーのモニター

インターネットによる会議録検索もできます。詳しくは17ページをご覧ください。

### ●平成20年赤磐市議会本会議一般傍聴者数

(ただし、議場にて傍聴した人数のみ)

種別	会期	傍聴者数
平成20年1月第1回臨時会	平成20年1月16日	2人
平成20年3月第2回定例会	2月27日～3月21日	17人
平成20年6月第3回定例会	6月9日～6月30日	22人
平成20年9月第4回定例会	9月2日～9月30日	32人
平成20年12月第5回定例会	11月27日～12月18日	25人
合計		98人

### ●平成20年赤磐市議会各常任委員会別

一般傍聴者数

(年間)

種別	開催回数	傍聴者数
総務常任委員会	12回	2人
厚生常任委員会	12回	9人
産業建設常任委員会	15回	2人
文教常任委員会	10回	1人
合計		14人

## 編集後記

赤磐市が誕生して丸4年が経ちます。新市誕生から議会広報を編集してきましたが、今回で一区切りを迎えることとなりました。

これまで本会議や委員会などでのさまざまな審議内容を要約し、報告してきましたが、皆様には十分お伝えできただでしょうか。

4月からは新しい編集委員のもとで新たな紙面がスタートします。これまでの蓄積を後任に託し、ここで一度筆をおきたいと思っております。ご愛読ありがとうございました。

### 議会広報編集特別委員

委員長	岡崎 達義
副委員長	小田百合子
委員	福木 京子
委員	森 重信
委員	萩田 敏正
委員	海野 雅之
委員	羽原 雅之
委員	梶野 章
委員	大口 浩志